

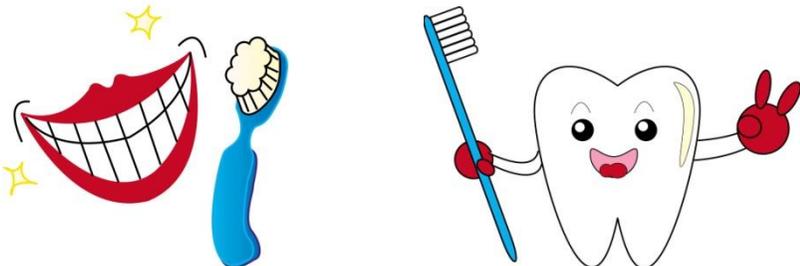
口は健康のもと Vol.133

歯の色調 ～白い歯は健康的～

歯の表面は、白っぽい半透明のエナメル質で覆われています。エナメル質の下層には、黄色みを帯びた象牙質があります。歯の色調は、象牙質の色が透けて見えるため黄色っぽく見えます。加齢に伴う変化では象牙質の再石灰化現象や、有機成分の化学的反応のために、歯が次第に黄色みを帯びると考えられています。

喫煙によるヤニ汚れやお茶、コーヒー、カレーなどの飲み物や食べ物に含まれる色素は、歯の表面にあるエナメル質に付着しやすいものです。表面の着色汚れは、歯科医院で機械的歯面清掃を行えば除去できる場合があります。象牙質の方まで色素が入り込んでいる場合は、歯の漂白をおこないます。象牙質の着色が非常に濃い場合には、歯を削って被せ物を入れたり、ベニヤとって付け爪のように歯の形に合わせた薄いセラミックを張り付けたりします。

着色汚れや強い黄色みのある歯は、不潔な暗いイメージを与えます。一方、白い歯は口元を若々しくしてくれます。美しい口元は、健康で引き締まった歯周組織が存在してこそ得られるものです。健康的で明るい口元を得るためには、歯の色調に関する治療とともに積極的に歯茎への歯周治療を行うことが肝要です。



奥羽大学歯学部附属病院

総合歯科 講師 釜田 朗

